

清明の候

若葉萌・鳥歌い・生命が輝く季節の到来



二ヶ領用水のさくら

4月1日 霞か雲か

さくら満開

新入生（工房4名）と新任職員2名を迎え、賑やかな年度初めとなりました。

4月は、ピカピカのランドセルや制服がまぶしく、まさに生命が輝く季節です。

つい先日まで、枯れ枝の寒々しい桜の化身は実に見事です。大雪や暴風雨も自然の成す技、仲間の生活も翻弄されましたが、自然と密着して生活している地域では、どのようなことが起きているのでしょうか。

はぐるま

【ワカメ収穫最盛期の十三浜では…】

2月、「記録的な大雪をもたらした2度の南岸低気圧の影響により、被災地のワカメの養殖に深刻な被害が発生している」とお聞きし、十三浜大指の青山さんへお電話をさせていただきました。

幸いなことに、青山商店さんのわかめに大きな被害はなかったとお聞きでき、仲間たちと安堵いたしました。8割近くのワカメに被害が出ている地区も紙面上で報告されていますので、手放しでは喜べない状況です。震災から3年、福島の原因事故の風評被害に続き、悲しくなってしまうニュースばかりなのですが、私たちにできることは、漁師さん達が育てた絶品ワカメ&昆布に舌鼓を打つことと、川崎地域での販売ですので、仲間たちと共にこれからも青山商店さんのワカメ昆布の販売を通して、十三浜を応援して

いきたいと思います。

また、今年も多くの関係者の皆様にご参加をいただきました。十三浜復興支援ライブでは、3年が経過した現在でも被災地を応援したいと集ってくださった全国の仲間たちで会場は満員御礼の大盛況となりました。

尚、収益金に関しましては、ご当地グルメ「十三浜ワカメうどん」をつくる製麺機購入費用に充てさせていただきます。事となりましたので、ぜひ十三浜産直センターでワカメうどんを堪能していただければと思います。



2014.3.15 今年も熱い熱い

想いを込めた素敵なライブでした！

79号

2014年4月11日

社会福祉法人
はぐるまの会

広報委員会
後援会

川崎市多摩区菅馬場1-18-17

Tel 044-946-1308

風のように

はぐるま

マラソン大会

はぐるまマラソンは今年で21回を数え、数々の名場面を残してきました。



大会の狙いは大きく二通りで、速さと記録をねらう「個人走」と、チームが協力して走り通す「集団走」があります。名場面としては箱根駅伝出場の、国学院駅伝選手と共に走り新記録が続出した年。

20キロハーフマラソンを集団で走り通しし、感動のゴールテープを全員で切った年。遅い仲間を全員で追い上げ、参加者全員でゴールする様は、毎年の恒例の光景です。

今回のマラソン大会は「気づかう」というテーマを掲げました。走力が違う仲間とチームでまとまって走るために、各々がどのような

な気づかいをしなければならぬか。人と人のつながりが希薄になったと感じる現代社会において、そもそも「気づかう」とはどういう事か。仲間たちに質問してみると、大体は「声をかける」との答えが多くありました。事前学習では仲間が一番浸透している「声かけ」で、「気づかう」声かけと、意地悪な声かけの違いを考え、練習の後は具体的にどのような行動を起こしたかを発表しあいました。仲間一人ひとりには、個別の目標があります。目標を達成するために私は・・・

「〇〇さんの後ろを走る」「後ろをチラチラ見ながら自己新記録を狙う」「よそ見をしないでまっすぐ歩く」「離れた仲間へ声をかけろ」「声を出して励ます」など、走りながら目標を集中して出来るように、距離を10kmに設定し、グループ走にしました。

本番では仲間です。仲間で声をかけあいながら、まとまって最後まで走りきることができました。本当は早く走りたい仲間、もつとのんびり走りたい仲間がいたと思いますが、ぐっと我

慢して仲間についていく、ゴール寸前で、最後尾の仲間を意識して足踏みで待ちチーム全員でゴールする仲間の行動は、見ている人に大きな感動を与えました。

最優秀チームには、ベストグループ賞を授与し、今後仲間の見本となり引き継がれていく事を願います。

今回だけではなかなか「気づかう」の浸透は難しいとは思いますが、行事の際には、今回のテーマを応用して仲間へ浸透して行けると良いと思います。

今年には新入生が4名入所しました。若い仲間が力一杯の活動ができるよう日々の生活から心身ともに鍛え、先輩仲間と共にのびのびと、力強く歩んでいけるよう、応援をしています。



20年間毎日ランニング・ウォーキングを続けてきました。力一杯はここにもあります。

理事会・評議員会報告

26年度事業計画

仲間たちの生活は、制度が変わるたびに影響を受けることとなります。今年度もグループホームの改正がされたり、障害程度区分↓障害支援区分に変わることによって手続き等が変わったりします。総合福祉法の行方は十分な監視の目でもって見極めていかなければなりません。

制度的には相談支援事業やホームヘルプ事業が整い、仲間の利用できるサービスも使いやすくなってきました。はぐるまでは、各事業の独自性と専門性を高め、かつ事業の連携を強めていくことが、法人の力をつけていく事にもなりますので、今年度の重点的な取り組みとしました。

法人本部

○組織運営制度の充実

- ・組織拡大に伴い法人としての制度・規定に基づいた運営の確立。
- 他4項目

相談支援事業

- ・川崎市の委託を受けていませんが、指定相

談事業所として内外部において必要とされる事業展開をしていきます。サービスを使う時に必ず必要とされる「サービス等利用計画」作成を、必要とされる人には内外問わず引き受けます。ただし公的な補助が無い中の運営は、非常に厳しいものがあります。今後この実態を明確にし、改善のための努力をしていきます。

ヘルパーステイション

25年度新規事業

- ・家事援助・身体介護・移動支援・行動援護
- ・同行援護を展開し、内外より広く要望がありますので、利用者の要求に応えられるように整備していきます。現在ヘルパーの確保が十分でない為、人員確保に努力いたします。

生活介護事業(第一作業所・工房・普工舎)

新入生4名を迎えます。

「すべての人に共通の発達の道筋がある」とする、人間発達理論に基づいて、仲間たちの「労働」「運動」「生活リズム」「地域活動」「文化活動」を組みたててきました。若い仲間も高齢の仲間も力いっぱい活動できるよう工夫

をしていきます。特に労働に関しての施設設備を整え、特徴ある作業の充実を図ります。

※備品購入

○第1作業所・パン発酵器

○はぐるま工房・ハーブ保管庫・種まき

ハーブ乾燥室・ハーブ園看板 他

○はぐるま普工舎・インターロックミシン

就労継続支援B型(第2作業所)

- ・喫茶部門の売り上げ向上の為のメニュー開発のため、ソフトクリームマシンの購入

・就労の為の支援・職場実習等の推進

共同生活援助事業

ホームは創立以来「生涯健康で生き生きとした生活をおくる」事を方針とし30年継続してきました。ここ数年仲間の高齢化・重度化が迫っていることを実感してきましたが、昨年は、重大な疾病を抱えた仲間の介護を通して、現実的な問題としてたくさんの課題が見えてきました。「生涯健康で生き生きとした生活をおくる」

方針の更なる発展と、抱えている現状から、具体的な課題を掘り下げ、生涯の家となるべくホームの将来の展望を見出ししていきます。

ホームの制度改正と予算

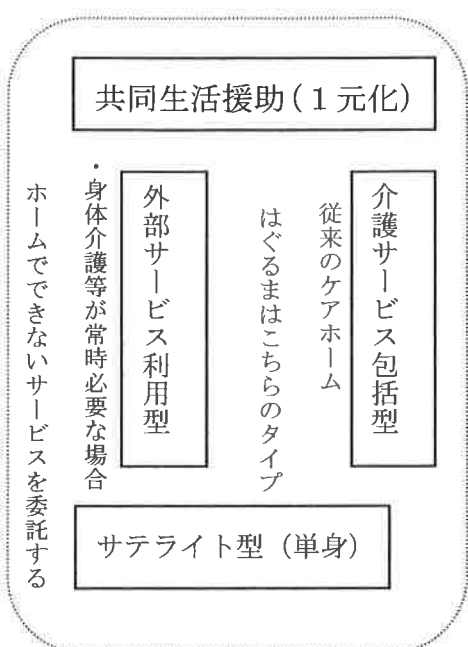
○共同生活介護（グループホーム）と共同生活援助（ケアホーム）が一元化されます。ただし介護型・委託型のどちらかを選択しなければなりません。基本報酬の違いがあります。

○サテライト型が新設

単身生活希望者・本体ホームの支援を受けながら自立をしていく。利用期限3年

【超える場合は審議会にて判定】

改正後のホームの形態



●夜間支援加算

夜勤型と宿直型の設定ですが、夜勤型の場合単価が低くなります。ただし夜勤・宿直の定義がはつきりと出ていません。

（例）支援対象者が4人の場合

※人数によって単位が違います。

【夜勤型】 336単位/日 (3360円)

【宿直型】 112単位/日 (1120円)

※ホームの実態によっても違います

★詳しい情報ははつきりと出されていませんが

夜勤型とは「深夜帯に介護できる職員が配置されている事」とあるので、はぐるまの場合夜勤型に該当するものと予想しています。詳細の定義が出た時点で詳しくお知らせします。

●今年度の予算の概要

昨年の補正予算値をベースにしましたので大きくは違いがありません。ホームについても変更点がはつきりしていないので、従来の報酬額で予算立てしてあります。

① 施設設備関連

② 職員体制強化（職員4名 看護師1名採用）

③ 消費税8%の対応（福祉サービス費は消費税

分を基本報酬に盛り込まれます）

④ 職員処遇改善（退職金引当等）

役員改選

理事	上野 耕一様	退任
新理事	紅谷 卓様	
評議員	小平 ときよ様	退任
新評議員	上野 耕一様	

26年度役員（敬称略）

○理事長 澤 俊男

○理事 山本 糸子 金子 良夫

玉井 信重 下築 京子

紅谷 卓男 高木 綾

○評議員

岩田洋子／玉村佳之／横渡 潤

松井隆一／伊藤祥子／上野耕一

志岐チエコ／ 岩田かつの

○監事 今野 陽三 山岸 武子

☆今後ともよろしくお願い申し上げます

●予算に関係する事項

○高齢化・重度化により、日中ホームで過ごす方が増えてきています。現場からの要求が多かった日中加算について創設されました。

『なかまとつくる みんなのしあわせ わたしのみらい』

26年9月に全国大会が、神奈川県横浜市で開催されます。

はぐるまは、無認可の頃から、この会に

(共同作業所全国連絡会) 加盟し、共同作業所運動

に取り組んできました。具体的には

『障害者自立支援法』

の際、作業所に通うのに、利用料を払わなくて

はならない・また障害の程度を決めて受けられる

サービスが決まる等、当事者や関係者から大きな

反対運動が起り「きょうさん」は関係団体と共に

全国運動を展開し廃案にまで追い込みました。

新法の『障害者総合福祉法』で決めないで【私たち抜きで私たちのことを決めないで】の実践です。

をスローガンに、当事者参加の元で新法ができ

るはずでしたが、十分な審議をせず、当事者の意向はほとんど反映されませんでした。

どんな人も「地域で当たり前に生きる」社会になるための運動は、まだまだ続きます

『きょうされん』と『はぐるま』の関係

20数年仲間たちが工賃獲得のために作っている「ふきん」は労働の保障をするために「きょうされん」で開発された作業です。はぐるまの

「ふきん」の売り上げは、全国5本の指に入り、仲間の縫製の技能もピカイチです。

「きょうされん」の神奈川支部では、当事者部会を組織しており、はぐるま仲間自治会からも代

表を送り、自分たちの言葉で社会に実情を訴えるまさに

【私たち抜きで

私たちの

ことを決めないで



大会協賛ご協力のおねがい

『きょうされん』全国大会は昨年福島で開催され、【鎮魂から復興へ】を、神奈川は『つたえ・

つなぎ・はじめる』をテーマに、はぐるまの仲間自治会・職員会総出で、全国大会に向かいます。この大会の趣旨にご賛同いただけましたら

協賛金という形で皆さまのご賛同、ご支援を賜りたく、お願いを申し上げます。

活動は始まっており、既に数人のご賛同を頂きました。この場を借りましてお礼申し上げます。

とはいえ、目標額には一段の努力を必要としていますので、引き続きお願いをしていきます。

※全国大会実行委員会よりお願い文がございますので、同封いたします。

手続きの概略ですが、「協賛金申込書」に記入の上

はぐるまの会 実行委員事務所へ FAXを頂き・同封の振込用紙で入金下さい。

ボランティアのお願いは、直接横浜の事務局に FAXをして下さい。お手数をおかけしますが

よろしく願い申し上げます。

新宿にて・街頭演説
仲間代表山田さん

(実行委員会 高木)

はぐるま後援会だより

はぐるまの会 後援会事務局 〒214-0004 川崎市多摩区菅馬場1-18-17

TEL 044-946-1308

NO, 28 平成26年4月

25年度ご協力ありがとうございました

敬称略

金子 良夫	門屋 清美	勝田佳代子	小畑 美帆	落合 由貴	岡田 圭司	大加田ミズエ	大内 文男	大内 照代	及川 総子	海老原玲子	内田 幸子	岩田 洋子	岩瀬 慶子	岩田 かつの	稲川 光男	伊藤 烈	石塚 謙二	池田 紋子	飯野 玲	新井 靖子		
金田 進	桑原慎次	板野裕樹	佐藤初枝	下築京子	竹内恵子	土井道子	遠井恵子	中村 操	橋本静代	蛭海 進	福田 真	矢澤静江	山田幸子	山田幸子	法人会員	東京セントラル税理士法人	遠井保険事務所	川崎信用金庫中野島支店	トランサイド珈琲	寄付金をありがとうございました	カリタス女子中学高等学校	生田バザー有志/キルトストーリー教



きょうされん/麻生いち実行委員会

菅フリーマーケット実行委員会/東郷 愛子

神奈川生協/住友生命/橋場商店/丸山玉江

大作自治会/中野島商店会/くうさんのお店

大黒屋/吉村 トメ/田中 淳/志岐チエ子

多摩川エコクラブ/飯嶋 正子/野瀬佐知子

松崎 敦子/関根 文江/横渡 潤

ファミーユの会/はぐるま後援会/福田 真

☆宮前開所式にはたくさんの方からお祝いを

頂きました一覧できませんが、この場でお礼申し上げます

☆26年度も引き続きお願い申し上げます

26年度の事業計画は、後援会として売り上げを得る活動(バザー等)を積極的にしていくことになり、早速4月に第1回の活動を行いました。

多摩川桜祭りに出店。毎月1回多摩川清掃活動をしていますので、その際に出店させて頂きます。主に珈琲の販売をします。

お詫び・すでに26年度分の会費を頂いている方もいらっしゃるかもしれませんが、次号で紹介をさせていただきます